

## 本時のねらい

3位数のよみ方、表し方、3位数の構成と位取りの仕組みを理解する。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

位取り表の図を子どもたちのiPadに送り、何度も練習することで、3位数の仕組みを理解する。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ iPad
- ・ BOOK
- ・ AppleTV

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時の振り返り</li> <li>○学習課題をつかむ 「100より大きい数を書いたり、よんだりしよう！」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクターに教科書の挿絵を映し、人数の数え方を全体で確認する。</li> </ul>
展開 (25分)	<p>3位数の読み方、表し方を学習する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1、10、100、それぞれのまとまりが何個できるかを考える。100、10、1の紙が何枚あるのかを考え問題に答える。</li> <li>○二百四十五など、漢字で書かれた3位数を数字で表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・位取り表をApple TVでプロジェクターに映し、考え方を全体で共有する。</li> <li>・授業者から送られてきた位取り表の図をBOOKに保存し、上から書き込む等、問題を解いていく。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○振り返りを行う。</li> </ul>	

## 1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：前時に学んだ人数の数え方を全体で復習している場面



写真2：送られてきた位取り表をBOOKに保存し、問題の答えを書いている場面

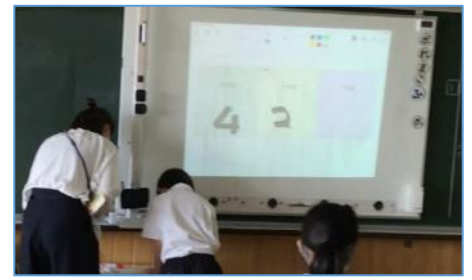


写真3：AppleTVで繋いだiPadに答えを書き込み、全体で答えを共有している場面

## 児童生徒の反応や変容

位取り表は位ごとに色が分かれているので、1、10、100、それぞれのまとまりが何個できるかを視覚的に意識しやすい様子だった。iPadに文字を書くと、失敗してもすぐに消してやり直すことができる。そのため、児童たちはほとんど問題を解き、なかにはわかったことについてメモを取る児童もいた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

前時の授業ではiPadの画面上に線を書き込むなど、10のまとまりを見つけ、10のまとまりを10個集めて100のまとまりになるということを視覚的に理解させることができた。

本時では100の位について知り、3位数の読み方、表し方を理解し、書いたり読んだりすることができることを目標にしたが、iPad上で行う位取り表の練習の中で、画面上で何度も書き直しながらすめることができた。

今後は、授業だけでなく日常の場面においても数に関心を持ち、自ら進んで表したり比べたり大きさをとらえたりするよう、身近にある数を題材にしていけるよう、日常生活の写真等を画面上で共有しながら、数えたり、数に表したりする活動を大切にしていきたい。